

## 主な仕様

周波数	7.6 MHz ~ 108 MHz の指定の 1 波
電波形式	F8E F2D F9W
出力	20 dBm
入力	アナログ音声、デジタル音声、アナログコンポジット
制御入力	監視機能、その他設定
監視出力	出力 POWER、変調異常、無音、電源
WEB	監視機能、その他設定
LCD ディスプレイ	監視機能、その他設定
その他	10 MHz REF

## 拡張 (予定)

- ・デジタルコンポジット入力

従来のアナログコンポジットではなく、デジタルコンポジットをそのままデジタル処理にて FM 変調することで、一切の劣化なく、送信までデジタルでつなぐことが可能になります。

- ・20W 出力

単なる FM エキサイタだけでなく同じ形で 20W 出力を用意。FMDR シリーズと組み合わせ高品質な中継放送を実現します。

## 外観図



※JIS/EIA 両対応となります

# デジタル FM エキサイタ

## CDEX-7000



# FPGA 搭載 高性能デジタル FM エキサイタ

CDEX-7000 は、FPGA を搭載した超高性能 FM エキサイタです。

信号が入力されてから FM 変調に至るまですべてデジタル処理で行われます。従来の VCO 型エキサイタなどの問題点を克服しコアとなる部分を FPGA によって行うことにより安定したパフォーマンスを発揮します。

また 7000 より以前からの、WEB 画面での常時監視はもちろん、大型 LCD 画面を搭載し本体から一目でステータスを確認いただくことが可能になりました。

## ハードウェア基本性能

- **入力**：アナログ音声 L/R、AES/EBU、コンポジット信号のいずれも対応。  
従来機では AES/EBU 入力時に DC オフセットによる送信周波数のゆらぎが頻発して問題となりましたが、本機では皆無です。  
**※注：国産従来機では切替時に障害が多発しており、選択・導入には注意が必要です。**
- **高音質**：従来のアナログエキサイタは PLL アンロック対策で 30Hz 以下の周波数帯の入力が困難でしたが、**本機はそのまま入力可能**とすることで、オンエア音質を飛躍的に向上させます。
- **多用途**：親局用、放送波中継局用  
弊社製デジタル FM 監視受信機 FMDR シリーズとの併用で、アナログ方式では成し得ない**親局並の高音質な放送局中継を約束**します。
- **起動性**：デジタル化された放送機器は、従来から起動時間が大きくなる傾向が見られますが、アナログ機と同様に維持されており、既設機スムーズな更新が可能です。
- **電源**：内部電源ユニット 2 重化 2 入力を標準装備。放送の安全信頼性を担保します。
- **WEB モニタ**

## Web 監視モニタ



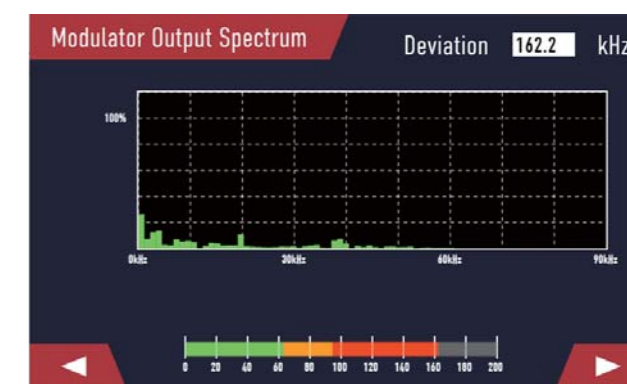
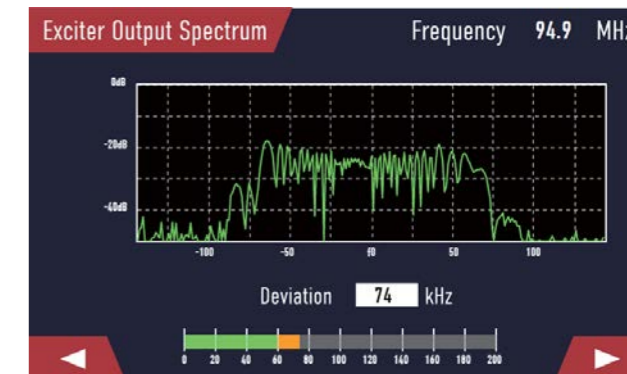
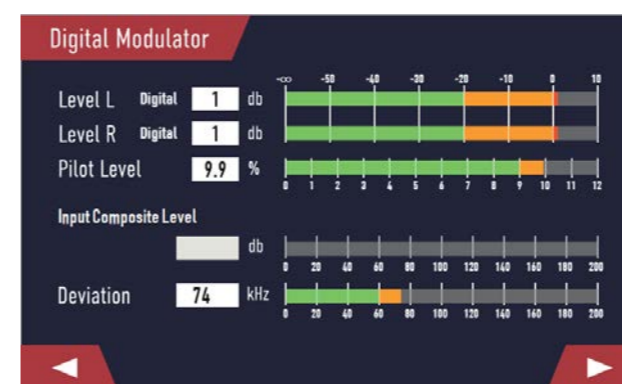
エキサイタの動作状況を常時監視する Web 型 FM アナライザを標準搭載。視認性に優れたモニタ画面で、マスター VDT 棚等に設置した運行監視装置と並べて、帯域特性、変調度、入力音声レベル、FM 局の送信監視に必要な項目を常時監視可能となります。

# 現場の声から生まれた操作性と、優れた性能

## 大型 LCD モニタ

本体前面に大型 LCD モニタを装備し、各種ステータスをその場でグラフィカルに監視可能です。

監視項目は、周波数、変調度、各種アラーム、入力と、FM に必要なステータスのほぼすべてを簡単な操作でわかりやすく表示します。



## 優れた性能

S/N、歪率は、プロの要求に応える圧倒的な高品質を実現しています。

スペクトラム波形でも、従来の国産デジタル機とは比較にならない性能を示します。

